

旧市立図書館跡地の利活用に向けた取組について

明石公園内の旧市立図書館跡地については、国の補助金等を活用することにより財政負担の抑制を図りながら、旧施設の撤去と新施設の整備を一体で行うことで、市民や公園利用者に親しまれ、明石公園の魅力をさらに高められるような利活用方法について検討を進めているところです。

つきましては、昨年12月に総務常任委員会で報告しました、「建設基本設計(素案)」について実施したワークショップ及びパブリックコメント等の概要並びにスケジュールの見直しについて報告します。

1. ワークショップ及びパブリックコメント等

建設基本設計(素案)について、昨年12月の総務常任委員会で報告を行った後、以下のとおりワークショップ及びパブリックコメントを実施しました。

(1) 概要

① ワークショップ

日時 2026年1月24日(土) 10時～11時50分
場所 こども広場多目的ホール(パピオスあかし5階)
参加者 28名(申込者29名)
内容 「新施設の建設基本設計(素案)について」

② パブリックコメント

募集内容 新施設の建設基本設計(素案)に対する意見
募集期間 2025年12月15日(月)～2026年1月28日(水)
意見者数 10名(43件)

③ みんなのみらいミーティング

日時 2026年1月12日(月・祝) 14時30分～16時30分
場所 あかし市民広場(パピオスあかし2階)
参加者 約60名
内容 ポスターセッション 「新施設の建設基本設計(素案)について」

(2) いただいた主な意見

ワークショップ及びパブリックコメント等における主な意見は次のとおりです。

① 市民ニーズの高いもの

- ・演奏、練習、発表ができる多目的ホール
- ・自然観察、天体観測、屋外活動で利用
- ・読書、学習、休憩、飲食、気軽に立ち寄れる居場所、世代間交流の場
- ・災害時に人命を守る施設、備蓄倉庫、防災学習や体験の場

② その他意見

- ・整備の必要性や計画の進め方、新施設の規模について
- ・アクセス性や運営、持続可能性について

(3) 今後の検討事項

「音楽・文化」、「自然・居場所」、「防災」の市民ニーズが高い機能を重視しつつ、施設規模や事業の進め方について丁寧に整理していきます。

2.スケジュールの見直しについて

旧市立図書館については、兵庫県との合意のもと、旧施設を解体し、新施設を2027年度中に供用開始することを目標に、現在、旧施設の解体設計を進めるとともに、解体工事の発注に向けた取組を行っているところです。このたび、旧施設の解体設計を進める中で、スケジュールの見直しが必要となることが判明しました。

(1) 旧施設解体について

ボーリング調査の結果、地下水位が地下4mと高いことが判明し、従来の計画から、止水性のある土留め工法へ変更する必要が生じたこと、また、県立図書館と近接していること及び一部接続している部分があったことから、解体方法の検討に期間を要し、昨年12月完了予定であった解体設計を継続して実施する必要が生じました。

また、解体工事については、当初、工事期間として約8カ月を見込んでいましたが、土留め工法の変更等により工事期間が長期に及ぶ見込みとなったため、設計の見直しを行い、地下躯体の再利用等も含め工期及び工事費の縮減を図りながら、公園管理者である兵庫県と協議を行っているところです。

そのため、旧施設解体工事については、当初、1月上旬に発注し、3月議会の議決を経て契約する予定としていましたが、現在、スケジュールも含め設計の見直しを行っているところであり、目途がつき次第、報告します。

(2) 新施設建設について

当初は今回の総務常任委員会で基本設計（案）について報告を予定していましたが、旧施設の地下躯体の再利用等も含めて設計を見直したうえで12月議会の総務常任委員会やパブリックコメント、ワークショップでいただいた意見を踏まえ、基本設計（素案）の修正案を作成し、改めて報告します。